

各 位

## 2011年 CEO 年頭所感 要旨

2011年1月4日

オリックス株式会社  
取締役兼代表執行役会長・グループ CEO  
宮内 義彦

< 本件に関するお問い合わせ先 >  
広報部：池田・堀井 TEL：03-5419-5102

年頭所感要旨（オリックスグループ CEO 宮内 義彦）

## ～オリックスグループを力強い成長軌道に回帰させる年～

（置かれた状況）

我々は、世界的な金融危機を、バランスシートの圧縮、リスク管理の強化により自らの力で乗り越えることができた。これからの成長は、過去のモデルに帰るのではなく、新しいビジネスモデルを確立し、それを進化させることで達成していく。

（力強い成長軌道に回帰させる）

昨年は“守りから将来を見据えた行動への転換の年”としたが、今年はその流れをさらに加速させ、“オリックスグループを力強い成長軌道に回帰させる年”にしなければならない。

（今後の方向性）

日本は、デフレ・人口減少・少子高齢化・円高等の影響から今後も低成長が続き、金融マーケットも危機前の元の姿に戻ることはないと考えている。そのため、金融に専門性を結びつけた「金融＋サービス」で事業を構築していく。その方向性のもと、オーガニックな成長に加えて、国内外を問わず手数料ビジネスの拡大につながる有効的な M&A・アライアンスにも取り組んでいく。

（変化の連続が必要不可欠）

企業に最終型というものではなく、日々、変化の連続が必要不可欠である。一人一人が行う仕事が最も時宜にかなっているか、会社にとって本当にプラスになっているかを判断基準とし、環境の変化に合わせた最適な仕事のあり方を考え、柔軟に改善しなければならない。

（無限の未来を開拓）

我々は、これまで「ほかにはないアンサー」をつくり社会に提供することによって、世界の中でもユニークで誰にも真似のできない企業体をつくり上げてきた。社員一人一人の前向きな発想と行動で無限の未来を開拓できる。

以 上